津波堆積物・古地震の研究

Keyword:津波堆積物、古地震、海岸平野、地層

津波堆積物及び地層に残された古地震記録の調査

主に静岡・清水・焼津平野及び伊豆半島南部で、ボーリングコア・トレンチ調査から得られる地層記録 を解析して、津波堆積物の分布と古地震に関わる情報を得ます。これらの調査から、同地域の地盤を高精 度で解析することもでき、液状化マップの高精度化が可能となります。







掘削機による掘削

- ・1978年の大規模地震対策特別措置法の制定以来、南海トラフ巨大地震は静岡県及び周辺域の社会に強 い影響を与え続けています。その上、2011年の東日本大震災を教訓に、国は南海トラフ地震の防災指 針を変え、従来の対象の歴史地震・津波(レベル1)に加え、あらゆる可能性を考慮した最大クラスの 巨大地震・津波(レベル2)を想定した。この想定による津波高は、従来よりも2倍以上高いものとな り、地域社会に影響を与えています。
- ・今後30年間における南海トラフ巨大地震の発生確率は70-80%と試算されており、その発生は静岡県 はもとより、日本全体の社会・経済に深刻なダメージを与えます。本研究では、沿岸低地の地層記録か ら南海トラフ巨大地震の実態を徹底的に解明し、既知の範囲を拡充することで、想定外の領域を縮小し、 巨大地震への防災・減災を向上させます.



北村 晃寿 学術院理学領域 地球科学系列 教授

相談に応じられる関連分野

・海岸低地の地盤

その他の社会連携活動

- ・地震・津波に関わる市民向けの講演
- ・地質調査に関わる技術者向けの講演
- ・ふじのくに地球環境史ミュージアム整備アドバイザー